

《合併15周年記念》  
久喜市の未来を語らうタウンミーティング  
～住み続けたいまちの実現に向けて～

日 時：令和7年10月21日（火）19時～20時15分  
場 所：栗橋コミュニティセンター  
参加人数：21名

【意見交換要旨】

①. 空飛ぶ車を見据えた未来志向のまちづくりについて

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
工業団地の発展や広大な土地という利点を活かし、次世代モビリティ（EV・無人車・空飛ぶ車）のモデル地区を目指してはどうでしょうか。 離着陸場所の確保など、将来の空飛ぶ車実装を見据えた都市整備を提案します。	南栗橋エリアでは、若い世代の流入を背景に未来型のまちづくりを推進しています。 現時点では航空法などの課題がありますが、まずはBLP（ブリッジ・ライフ・プラットフォーム）構想に基づき、自動運転ロボットによる配送やドローンの活用研究を先行して進めます。 今後も引き続き、新技術の実装に向けた研究・実験を重ね、未来志向の都市整備に努めてまいります。

②. 高齢者の移動手段確保と自転車の走行環境整備について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
デマンド交通などの整備は進んでいますが、依然として高齢者の移動には課題が多いです。また、道路の溝や雑草などにより自転車の走行に支障があるため、安全に走行・歩行できる環境を整えてほしいです。	栗橋地区の狭隘（きょうあい）な生活道路の課題を認識しており、今後の改修では自転車利用者の視点に立った整備に努めます。 また、次世代の公共交通として自動運転技術の導入も視野に入れ、誰もが低コストで快適に移動できる仕組みを検討してまいります。

③. 市長が誇る久喜市の魅力について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
友人に「久喜市の自慢できるところ」を聞かれた際、市長が胸を張って挙げられる地域固有の魅力を3点伺います。	第一に、提燈祭りや関東最古の鷲宮神社といった、歴史と伝統に裏打ちされた多様な「地域文化・観光資源」です。 第二に、合併のメリットを活かした「賑わいと活気あるイベント」の多さです。 そして第三に、新たなごみ処理施設や余熱利用施設、本多静六記念公園といった、未来を見据えた「先進的な公共施設」を挙げます。これらを市の誇りとして、今後も魅力を高めてまいります。

#### ④. グローバル教育の推進と共生社会の実現について

主な意見・提案	市長・教育長の回答（要旨）
<p>工業団地の発展などに伴う外国籍住民の増加を見据え、学校教育に「グローバル」の視点を積極的に取り入れるべきです。外国の方との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成を要望します。</p>	<p>（教育長）外国籍児童生徒が多い学校に対する日本語指導教員の単独配置や、英検受験料の公費負担、イングリッシュキャンプなどの施策を推進しています。世界で活躍できるよう、今後もデジタル技術を活用した国際交流などを通じ、コミュニケーションがとれることもたちを育ててまいります。</p> <p>（市長）市内には 50 カ国以上の外国籍市民が在住しており、産業や教育現場での活躍も広がっています。姉妹都市交流などを継続するとともに、地域での孤立を防ぎ、互いに認め合える「共生社会」の実現に向けた取り組みを強化してまいります。</p>

#### ⑤. 外国人への日本語学習支援と環境整備について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>「栗橋にほんご会」では、多くの外国籍住民が日本語や地域マナーを学んでいます。活動拠点である栗橋中央コミュニティセンターの冷暖房整備など、学習環境の支援を要望します。</p>	<p>地域生活の基盤となる日本語教育の活動は大変有意義であると認識しています。</p> <p>ご要望の冷暖房整備については、より良い環境で活動いただけるよう担当部署と調整し、推進を図ります。</p> <p>今後も各地区の活動団体と連携し、外国籍市民が地域に馴染み、快適に生活できるよう支援強化に努めます。</p>

#### ⑥. 歩道の環境維持と防犯対策の強化について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>歩道の雑草や街路樹の繁茂により、通行の妨げや防犯上の不安が生じています。自治会の活動だけでは夏場の管理に限界があるため、市の魅力向上につながる効果的な管理手法を検討してほしいです。</p>	<p>雑草対策は市全体の課題ですが、近年の酷暑による作業制限や、事業者の人手不足などにより対応が困難な状況にあります。</p> <p>今後は「道路の里親制度」の活用促進や、近隣企業・施設とのボランティア連携など、新たな協力体制の構築が不可欠です。働き手不足という厳しい現状を受け止めつつ、地域共同での美化活動を支援し、安全で良好な環境の維持に努めてまいります。</p>